

R5. 5. 17 修正版			学校名	川内小学校	校長名	中川路 和孝			
番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)			
			評価(数値平均)			主な意見			
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	段階	人数	平均	・学校便りやPTA行事等を通して、学校経営方針が更に伝わるように努める。	段階	人数	平均
			A	5	3.3		A	6	3.3
			B	15			B	9	
			C				C	1	
D		D							
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し改善に向けて努力している。	段階	人数	平均	・授業と連動した基礎学力の向上を図る。	段階	人数	平均
			A	3	3.1		A	4	3.2
			B	16			B	10	
			C	1			C	1	
D		D							
3	(2)	子供たちは、「学校が楽しい」と感じ、生き生きと学校生活を送っている。	段階	人数	平均	・あたたかい支持的風土にある学級づくりに努める。	段階	人数	平均
			A	5	3.2		A	4	3.3
			B	14			B	12	
			C	1			C		
D		D							
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	段階	人数	平均	・心の行き届く(見つける・思いをめぐらす・向き合う)生徒指導の充実にも努める。	段階	人数	平均
			A	6	3.3		A	6	3.4
			B	14			B	10	
			C				C		
D		D							
5	(3)	子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。	段階	人数	平均	・外部指導者を招聘した地震の避難訓練を行った。 ・安全指導と生命尊重の意識の高揚に努める。	段階	人数	平均
			A	6	3.3		A	5	3.3
			B	14			B	11	
			C				C		
D		D							
6	(4)	教職員は、子供と望ましい関係を築いており、保護者や地域との交流が図られている。	段階	人数	平均	・行事や学習指導における地域の人材活用への推進に努める。	段階	人数	平均
			A	3	3.2		A	2	3.1
			B	17			B	11	
			C				C	1	
D		D							
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	段階	人数	平均	・豊かな体験の充実に努める(ボランティア緑化活動)	段階	人数	平均
			A	5	2.9		A	4	3.2
			B	9			B	11	
			C	5			C	1	
D	1	D							
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に点検され、安全な状態が保たれている。	段階	人数	平均	・安全点検の定期的な実施と点検後の改善を図る。	段階	人数	平均
			A	8	3.4		A	5	3.3
			B	12			B	11	
			C				C		
D		D							
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	段階	人数	平均	・学校便り・週報等を活用し、子供の様子や実態を伝えるように努める。	段階	人数	平均
			A	4	3.0		A	11	3.7
			B	11			B	5	
			C	5			C		
D		D							
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	段階	人数	平均	・学校・家庭・地域が三者一体となって取り組む態勢づくりを行う。	段階	人数	平均
			A	3	3.2		A	6	3.3
			B	17			B	9	
			C				C	1	
D		D							

様式6 令和5年度 学校関係者評価結果

No.2

R5. 5. 17 修正版

学 校 名

川内小学校

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価(集約)			対策・改善点	学校関係者評価委員による評価(集約)			主な意見
			評価	人数	平均		評価	人数	平均	
11	(6)	小中一貫教育は、小中間の交流活動等が効果的に行われ、成果が現れている。	段階	人数	平均	・一中四小の共通理解・共通実践を強化する。	段階	人数	平均	
A	4	2.8	A	3	3.1					
B	8		B	12						
C	8		C	1						
D			D							
12	(6)	薩摩川内元氣塾は、子供たちに夢や元気を与えている。	段階	人数	平均	・1月に実施予定。・キャリア教育の観点を意識した講師招聘を考えていく。	段階	人数	平均	
A	3	2.6	A		3.0					
B	10		B	2						
C	3		C							
D	4		D							
13	(6)	英語の授業では、子供も教師も笑顔でコミュニケーション活動を行い、英語力が身に付いている。	段階	人数	平均	・EST・ALT・英語専科と連携し、実践的研究を推進する。	段階	人数	平均	
A	6	3.3	A		3.0					
B	14		B	2						
C			C							
D			D							
14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	段階	人数	平均	・学校・家庭・地域が協力して、あいさつのよさを伝えていく。	段階	人数	平均	・下校途中に1年生が仲良く、笑顔であいさつをしていた。
A	6	3.2	A	1	3					
B	12		B	14						
C	2		C	1						
D			D							
15	(8)		段階	人数	平均		段階	人数	平均	
A		#DIV/0!	A		#DIV/0!					
B			B							
C			C							
D			D							
16	(8)		段階	人数	平均		段階	人数	平均	
A		#DIV/0!	A		#DIV/0!					
B			B							
C			C							
D			D							

↑A=4点, B=3点, C=2点, D=1点として、学校教職員の評価を平均(小数第1位まで)

↑A=4点, B=3点, C=2点, D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均(小数第1位まで)

<学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策>

- あいさつについては今年度の最重点として「立ち止まって、気持ちのいいあいさつをしよう。」と決め、学校全体で取り組んでいる。今後、学校での取組が家庭・地域でも成果として見られるような指導を続けていく。
- いじめの発生について、いじめは全く無いわけではないが、毎月いじめアンケートを実施し、確認をしながら確実に対処してきている。これからも職員が「いじめはある」という危機意識を持ちながら、児童の観察や個別の対応を続けていく。
- 安全対策については学校評価において保護者の評価が高い。学校では特に熱中症対策を徹底することができた。児童の意識も高まっていると感じる。引き続き来年度も徹底していく必要がある。